



morphosys

研究のヒントがここにある！ …かも

抗体職人 ニュースリリース②

MorphoSysの人工抗体ライブラリ由来の抗体を用いた 新しいタンパク質検出法を開発

<概要>

MorphoSys社は、e2v社と共同で、抗体を用いた新しいタンパク質検出法の開発を開始したと発表しました。

e2v社が開発中のVisucure®は、一般的な定量法であるELISA法と異なり、試料中の特定タンパク質をわずか10分で洗浄操作もなく定量できる手法です。これはe2v社が開発したSERRS法 (surface enhanced resonance Raman spectroscopy; 銀基板上に置かれた試料を1分子単位で検出する技術) と、MorphoSys社の人工抗体ライブラリHuCALとの組み合わせにより可能となっています。

まず、検出したい抗原に特異的なHuCAL抗体を作製し、銀基板上に固定し、SERRS専用の色素を付加したペプチドをHuCAL抗体に結合させます。この時、ペプチドは磁場の外にあるため検出されませんが、添加試料に目的抗原が含まれていれば、ペプチドは抗体から外れ、銀基板と直接接触するのでSERRSシグナルが検出されます。このように、Visucure®は従来の特定物質検出法と異なり、Sandwich pair抗体を必要とせず、また、抗原添加による置換法でシグナルが生じるので洗浄作業やインキュベーションが不要で、従って非常に簡便、迅速、かつ高感度に試料中の特定タンパク質を定量できます。

本手法は開発段階ですが、e2v社は既に特許を2つ獲得し、更に11件を申請中です。

<原文は以下のプレスリリースにて報告されています。>

MorphoSys News

e2v to Establish Next Generation Biosensor System Using AbD Serotec-generated HuCAL Antibodies.

Released on-line on September 23, 2008

《以下のサイトから原文をご覧いただけます》

<http://www.ab-direct.com/about/news-release-615.html>

《続々報告予定》



ジーンフロンティア株式会社

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-19 東大柏ベンチャープラザ 308号室

Tel. 04-7137-6301 / Fax. 04-7132-7530

E-mail: info@genefrontier.com